

リーディングDXスクール事業【実践事例】

宮城県仙台第三高等学校（宮城県）

【取組内容①】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（オンラインで結んだ授業）

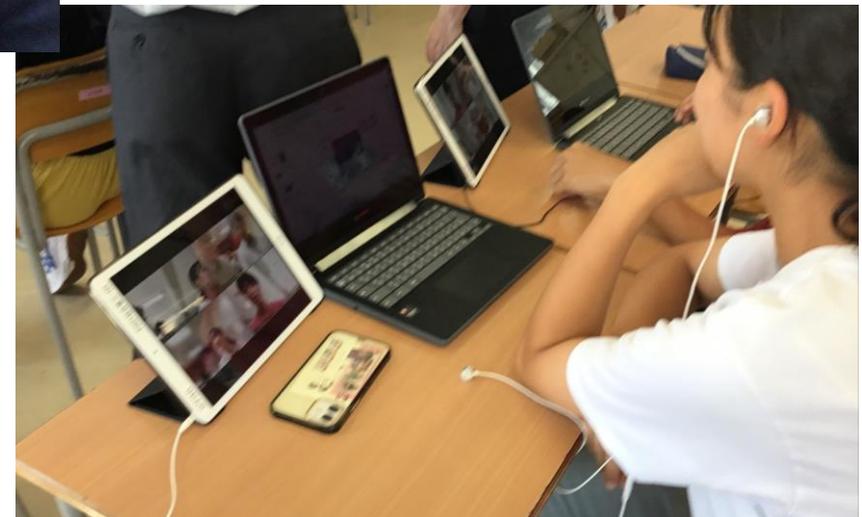
無料動画配信アプリの
活用（京都↔宮城）

（生徒の変容）

- ・自分の地域の現代歌枕を選定したり、相手校からもらった歌枕に込められた意図を読み取ったりする活動を通して、自分の地域や相手の地域に対する関心が深まった。
- ・和歌を創作する活動を通して、よりよい表現にしようと、言葉の使い方を工夫したり、推敲したりする姿が見られた。

（生徒の活動：流れ）

- ①YouTube上の予習動画を事前に視聴する。
- ②地元の紹介資料を、お互いの学校で作成する。
- ③WEB会議（地元紹介をしながら交流）
- ④自分たちの地域の伝統行事や名所を「現代歌枕」として考え、お互いに送りあう。
- ⑤送られてきた歌枕をもとに「和歌」を1首作り発表用スライドで相手校の生徒に送る。
- ⑥WEB会議（歌枕や和歌に込めた思いの共有）



【取組内容③】端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実（反転授業）



（教師及び生徒の変容）

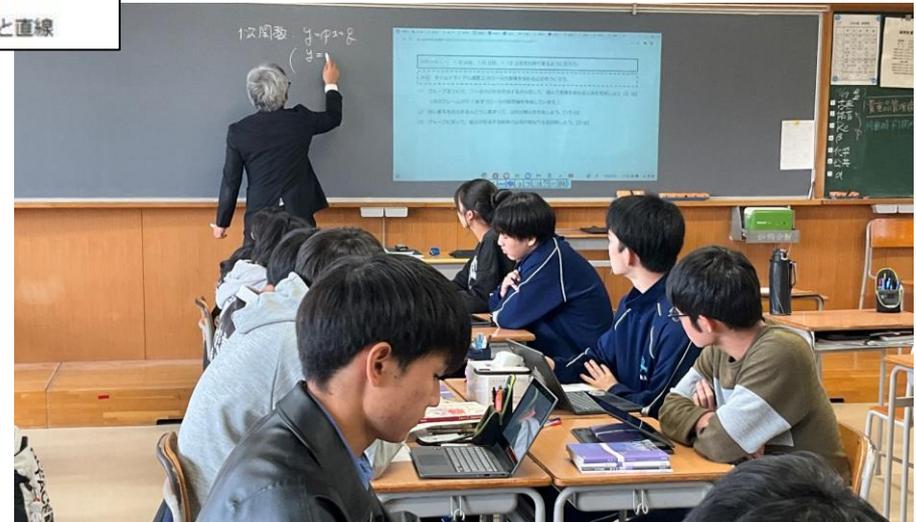
- 教師はWEB上で授業計画を確認できるため、授業の進度調整が楽になった。
- 教師の業務分担により、教材づくりに時間をかけられるようになった。
- 教師は授業時に伝えきれない内容も、動画で伝えることができるので、授業づくりへの意欲が高まった。
- 生徒は、自分に必要な情報を取捨選択して学習できるので、これまで以上に主体的に学習に向き合うようになった。

（生徒の活動）

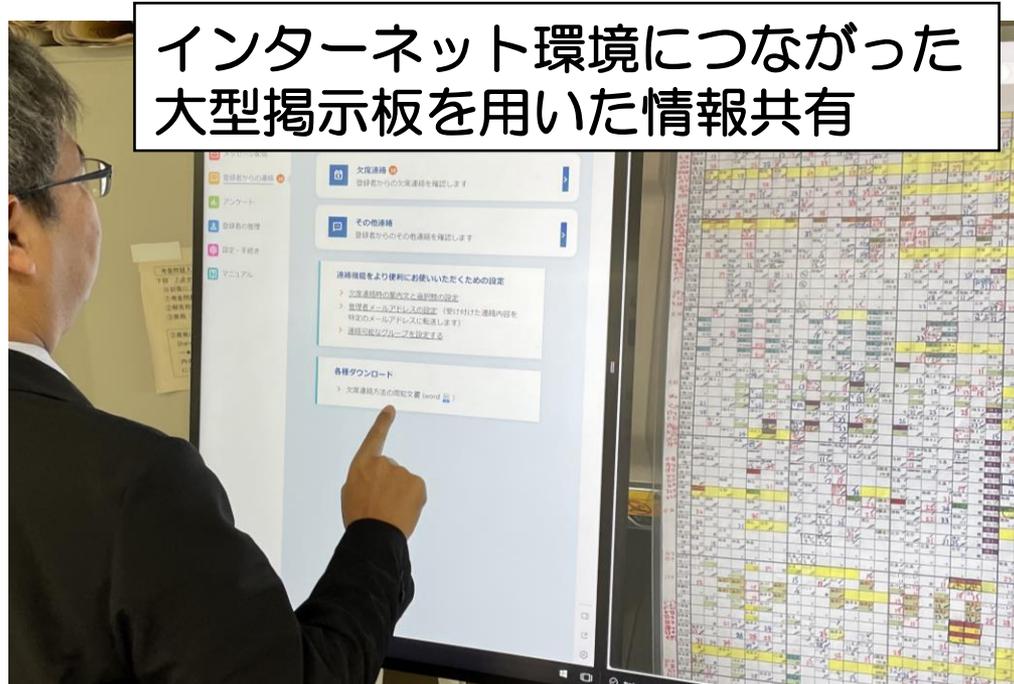
- ①授業時間外に授業の予習動画を視聴
- ②授業中に問題演習（個別の課題設定）

（実施にあたっての工夫点）

- 教員間で動画撮影を分担（負担軽減）する。
- 作成した授業計画をクラウド上におき、教師及び生徒の閲覧を可能にすることで、進度をそのつど確認したり、見通しをもつ際の参考にしたりすることができる。



【取組内容④】 校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修



（活用方法）

- ①これまで電話で行っていた欠席連絡をメッセージ機能を持つアプリで確認できるようにするとともに、大型掲示板で職員室内にて表示する。
- ②サイトに当日の時間割情報を保存し、全職員で情報を共有する。
- ③各行事に関する注意事項を確認する。
- ④教科担当者での教材を情報共有する。

（実施にあたっての工夫点）

- ・その場で確認するなどの負担軽減
- ・情報を共有化

（利用した教員の声）

- ・ネットワーク上で情報共有されていても、見落としがちな情報が、視覚的にもわかるようにされることで、確認し忘れが減った。
- ・部活の決勝戦などをパブリックビューイングができることで、職員室内で感動をわかちあえる。
- ・当日の急な時間割変更や緊急連絡を出張先でも職員室でもすぐに確認できて便利。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

宮城県仙台第三高等学校（宮城県）

【取組内容④】 校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修

会議時間短縮による研修時間の確保 及び対話的・協働的な教員研修



（資料の電子化及び会議時間の確保）
職員会議の時間短縮を図るため、会議資料を校内ポータルサイトにデータ化する。職員は会議前にその内容を確認する。職員会議の目標時間を30分以内にする。

（校内研修）
会議時間を削減し確保した30分を使い、授業改善などの研修を行う（月1回）

（ちょこ研）
短時間でICTの便利な活用などを先生同士で教え合う（15分程度）。

（対話的・協働的な教員研修の実施）

- ・ 講師資料は、クラウドから電子データで配付する。
- ・ 研修のディスカッションでは、デジタルホワイトボードを利用して意見を出し合って結論をまとめる。研修終了後は全職員で各グループの内容を共有する。
- ・ 実施後にアンケートを実施し、次回の研修に生かす。

（本年度の研修内容の例）

授業改善、生成AIの利活用、進路指導、地域連携など



リーディングDXスクール事業【実践事例】

宮城県仙台第三高等学校（宮城県）

【取組内容⑤】 その他（実践内容を地域内外に普及するための具体的な取組等）

データを活用した教科横断的な授業の実践、公開授業（16クラス）



SSデータサイエンス（情・数）



日本史探究（地歴・情）



STEAMライフサイエンス（家庭・保体）

伴走する研究者による講演 及び 教科横断的な学びやICT活用に関する意見交換



（伴走する研究者）
 広島工業大学 教授 安藤 明伸 氏

（研究協議での内容）

- ・安藤氏による講演（教科横断及びデータの活用）
- ・教科横断的な授業の課題について
- ・授業改善に向けた情報交換